



ふれあい

R 6. 9. 9

和田小ブログ <https://weblog.city.hamamatsu-szo.ed.jp/wada-e/>

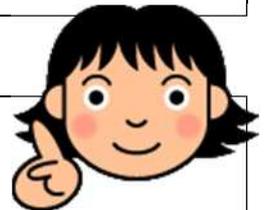
4月18日（木）に、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象として行われた、全国学力・学習状況調査の調査結果及び、本校6年生児童の状況について、お知らせします。

【教科調査の結果】

各教科の平均正答率は、以下の表の結果となりました。結果を分析したところ、教科や出題内容によって、定着に差が見られたり、児童が苦手としている内容・問題が顕著に表れたりしています。また、質問紙調査の結果からも、和田小児童の特徴も分かってきました。調査結果を生かして、全校の授業改善や学力向上、学校生活の向上に努めていきたいと思えます。

【本校の平均正答率の状況】

	全国	静岡県	和田小学校の状況
国語	67.7	67	全国平均を若干上回る
算数	62	63.4	全国平均と同程度



教科調査からの傾向

国語	<p>解答傾向は、問題による多少の差異はあるが、国や県とほぼ同様である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」の正答率が、県や国の平均正答率を共に5%以上、上回った。 ○ 無解答率が低い。無解答率が5%以上になった問題は2問のみだった。 ●「話すこと・聞くこと」の正答率が若干低い。
算数	<p>解答傾向は、問題による多少の差異はあるが、国や県とほぼ同様である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」領域の知識・技能に関する問題の正答率が高い。 ○ 無解答率が低い。無解答率が5%以上になった問題は2問のみ。 ●「図形」領域の正答率が、県・国の平均正答率を共に下回った。

【国語科の考察】

国語は、国・県の正答率を若干上回りました。言葉の特徴や使い方に関する問題では、「競技(きょうぎ)」・「投げる(なげる)」の漢字や送り仮名を正しく書くことができていました。また、「書くこと」の問題が2問ありましたが、どちらも国・県の正答率を大きく上回りました。【問題番号2ー(1) 2二】特に、条件に合わせて記述式で解答する問題も国や県の正答率や無解答率に比べ良い傾向でした。児童質問紙調査でも、最後まで解答を文章で書こうと努力したと回答した児童が多かった(80.9%)です。しかし、「話すこと・聞くこと」の思考を伴う問題では、国・県の正答率を下回った問題がありました。【問題番号1三】目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討する(メモの役立った部分を見つける)力が不足していることが分かりました。今後の学習では、目的や意図に応じて、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたり、表現方法について話し合ったりする場を増やしていきたいと思います。その際、ICTの活用を積極的に行っていきます。

【算数科の考察】

算数は、国の正答率を若干下回り、県の正答率とほぼ同等でした。問題文に合う正しい式を選んだり、わり算の商を見積もったりするなど基本的な「知識・技能」を問う問題の正答率が高かったです。【問題番号1(2) 2(2)】計算の基礎が定着している児童が比較的多いと考えられます。しかし、思考を伴う問題の正答率は、国・県よりも下回りました。特に、「図形」の五角柱の構成について記述で解答する問題では、国・県の正答率を大きく下回りました。【問題番号3(4)】今後の学習では、図形の構成要素を暗記するだけでなく、辺や角の位置関係や数を使って図形そのものや展開図、見取り図などについて説明できる力を養いたいです。また、図形の問題だけでなく、前の学年までの復習を適宜行っていき、基礎学力の定着を図るようにしていきます。

【質問紙からみた傾向】

「朝食を食べているか」「同じ時刻に寝ているか・起きているか」など基本的な生活習慣でよい回答をしている児童が多かったです。「先生は、よいところを認めてくれているか」の回答では、「当てはまる」と回答した児童が県や国で50%未満でしたが、本校は70%以上で、「どちらかといえば当てはまる」と合わせると94%の子がよい傾向にあり、自己肯定感の高さが見られました。また、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれているか」の回答では、「当てはまる」と回答した児童が60%であり、国や県の回答よりも10%以上上回りました。



一方、授業で学んだことを次の学習に生かすことや一日の勉強時間については、県・国と比べると意識の低さや時間の短さが見られました。授業でのICTの活用については、使用回数や活用方法について、国・県の回答よりも下回りました。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」の回答も低い結果となりました。今後の学習では、ICTを授業だけでなく家庭学習でも積極的に活用していきます。そして、他者の意見について考える場を設けたり、学習の習熟に役立てたりしていきます。

国語・算数の調査結果と結び付けて考えると、与えられた課題に対しては一生懸命に取り組むが、それ以上を求めたり、進んで取り組んだりすることが課題であることが分かりました。今後は、与えられた課題だけでなく、自主的な学習が身に付くように授業改善を進めていきます。

■個別の調査結果について

6年生の児童には、個別の調査結果を配付します。この調査結果は、「学力」のみをはかるのではなく、お子さまの傾向を知るためのものと考えてください。教科によって、問題内容によって、解答形式によって、どのような違いがあるか、自分の得意なこと、苦手なことはないかなどを見付けて、今後の学力向上のために活用してください。



ふ れ あ い

R 6. 9. 9

和田小ブログ <https://weblog.city.hamamatsu-szo.ed.jp/wada-e/>

学校生活アンケート（1学期末）の結果について

1学期末に行いました、学校生活アンケートへの御回答、ありがとうございました。

児童のアンケート結果と合わせて結果を考察、分析した内容や課題に対する改善、向上策等を3つの重点項目に沿ってお知らせします。

アンケート結果の一覧は裏面、保護者自由記述欄に対する回答は2枚目に掲載してありますので、そちらもあわせて御覧ください。

（1）「学びあう子」

児童の結果は、おおむね90%程度の良い傾向が見られました。一方保護者の回答では、児童の回答との差が大きい設問がありました。特に設問⑥「先生は、学習がよく分かるように教えてくれたり、手助けしてくれたりする」の児童の肯定的な回答は96%とかなり高い数値となりましたが、保護者の肯定的な回答は69%でした。（児童と保護者で設問の文が若干異なります）。今後は、お子さんの授業への取り組みの様子を保護者の方には知っていただくための方策を考えていきたいと思います。また、昨年と同様の傾向ですが、設問②「家庭学習、学校の準備、身支度などを進んでできる」でも児童に比べ保護者の肯定的な回答が20%以上低かったです。児童アンケートには、やるべきこととして係活動や委員会活動が含まれるため、進んで取り組んでいると答える子が89%いました。家庭では、「自ら進んで」ということがまだまだな児童が多いと思われます。家庭での意識も向上できるように、今後も保護者、家庭と連携しながら、児童への呼びかけ、支援を進めていきたいと思います。

（2）「認めあう子」

設問⑦「楽しく元気に学校に通っている」と設問⑧「友達にやさしく接することができる」の肯定的な回答が、児童、保護者ともに高かったです。一方で設問⑨「自分から進んで挨拶できる」では、児童に比べ保護者の肯定的な回答が15%以上低かったです。これは、昨年と同様の傾向となります。保護者アンケートの自由記述欄にも、旗振りをしていても挨拶が返ってこないという意見がありました。学校生活では、決まった場面では知っている先生や友達に対して挨拶をすることが多いですが、校外や地域では、個々に目上の人や初対面の人へ挨拶しなければなりません。これは、社会生活における大事な要素だと考えられます。昨年度から引き続き学校での指導も引き続き進めていきますが、ぜひ家庭でも挨拶について考えてみてください。また、設問⑫「先生（学校）は、よいところをほめている」でも児童と保護者の回答に大きな差がありました。（児童の肯定的な回答96%に対して保護者の肯定的な回答69%）保護者の方が頻繁に学校に足を運んで、お子さんと教師のやり取りを見ることは中々難しいと思います。今後も学校の様子を便りやブログ等での情報発信に努めてまいります。御家庭でも先生とのやり取りだけに限らず学校の様子について、お子さんとお話する機会をもっていただけたらと思います。

（3）「きたえあう子」

児童、保護者ともにおおむねよい回答結果となりましたが、昨年同様、設問⑬「遊びや運動で体力づくりに取り組んでいる」で、進んで体力づくりに取り組んでいる子とそうでない子の差が大きいことが分かりました。7月は熱中症対策のため休み時間の外遊びを制限したことも関係していると思いますが、体育科の授業を中心に、体を動かす機会を増やしていきたいと思います。

これらのことについては、9月13日に行われます学校運営協議会でも議題として取り上げ、検討していく予定です。

児童アンケート結果		A	B	C	D	保護者アンケート結果		A	B	C	D	E	
No.	設問	とても そう思う	そう 思う	そう あまり 思わない	そう 思わない	A+B	設問	とても そう思う	そう 思う	そう あまり 思わない	そう 思わない	わ か ら な い	A+B
学び あ う 子	① わたしは、学習したことが、よくわかっている。	42	49	8	1	◎91	お子さんは、学習内容が理解できている。	16	62	18	3	1	79
	② わたしは、やるべきこと(係活動、委員会、家庭学習、学校の準備、身支度など)を進んでできる。	45	44	9	2	○89	お子さんは、家庭学習、学校の準備、身支度などを進んでできる。	19	48	24	8	0	▲67
	③ わたしは、人の話をしっかり聞き、自分の考えを話すことができる。	44	42	12	2	○85	お子さんは、話をしっかり聞いたり、自分の考えを話したりできる。	17	53	25	5	0	▲69
	④ わたしは、生活や学習の中で、チャレンジしがんばっていることがある。	56	34	9	2	○89	お子さんは、生活や学習の中で、チャレンジしがんばっていることがある。	26	51	18	3	1	77
	⑤ わたしは、タブレット端末を使うと、授業や家庭学習がわかりやすくなる。	59	30	10	2	○88	お子さんは、授業や家庭学習でタブレット端末を使うことを楽しみにしている。	44	43	9	1	3	○87
	⑥ 先生は、学習がよく分かるように教えてくれたり、手助けしてくれたりする。	75	21	3	1	◎96	学校は、学力が身に付くよう、児童に応じた学習の手助けを行っている。	13	56	17	4	11	▲69
認め あ う 子	⑦ わたしは、楽しく元気に学校に通っている。	74	21	3	2	◎96	お子さんは、楽しく元気に学校に通っている。	46	45	6	2	1	◎92
	⑧ わたしは、友達にやさしく接することができる。	53	39	6	2	◎91	お子さんは、友達にやさしく接することができる。	35	56	5	1	3	◎92
	⑨ わたしは、自分から進んであいさつをすることができる。	59	31	8	3	○89	お子さんは、自分から進んであいさつをすることができる。	22	50	21	5	2	72
	⑩ わたしのクラスは楽しく、教室は安心できる場所である。	61	28	9	2	○89	学校は、児童一人一人を理解し、いじめのない学校、学級づくりに取り組んでいる。	17	61	9	2	10	74
	⑪ 学習や生活などについて、先生に相談しやすい。	58	31	8	3	○89	学校は、教育相談や個別面談等が充実し、相談がしやすい。	15	60	15	3	7	75
	⑫ 先生は、わたしのよいところをほめている。	68	27	4	1	◎95	学校は、お子さんのよいところをほめている。	19	55	13	2	12	74
きた え あ う 子	⑬ わたしは、遊びや運動で体力づくりに取り組んでいる。	60	25	11	4	○85	お子さんは、遊びや運動で体力づくりに取り組んでいる。	32	46	17	4	2	78
	⑭ わたしは、健康や安全に気を付けて、生活している。	67	27	4	2	◎94	お子さんは、健康や安全に気を付けて、生活している。	25	61	12	2	1	○86
	⑮ わたしは、「早寝早起き朝ご飯」の習慣がついている。	50	35	12	4	○85	お子さんは、「早寝早起き朝ご飯」の習慣がついている。	36	44	16	3	0	○81
	⑯ 先生は、健康や安全に気を配ってくれている。	77	20	3	1	◎96	学校は、安全確保や健康管理のための取り組みを行っている。	20	64	7	2	8	○83
<資料の見方>①単位は% ②A+Bは「とてもそう思う」「そう思う」と答えた割合の合計 ③90%以上は◎、80%以上は○、70%未満は▲ ④四捨五入の加減で、合計が100%にならないものもあります。		他 (保護者のみの設問)		⑰	学校は、たよりやホームページなどで情報をよく発信している。	27	64	5	1	4	◎91		
				⑱	学校は、保護者や地域と連携して、教育課題に取り組んでいる。	15	59	10	2	15	73		

今年度は、保護者アンケートの選択肢の中に「わからない」を追加しました。「わからない」の回答が1割を越えた設問が4つありました。学校では、今まで以上に学校の様子や取り組みについて情報発信に努めていきたいと思えます。御家庭でも、お子さんとの会話の中で学校の様子や友達のことなどを取り上げていただきたいと思えます。

7月31日(水)にアンケートの回答結果をもとに、教職員3、4人ずつのグループを作り、本校の良さや課題について話し合いました。



〈自由記述欄について〉

○ 参観会（懇談会）について

「兄弟がいるので学年別で行ってほしい」「混雑を避けるため町別に分散してほしい」「2時間にしてほしい」等、いろいろな意見をいただきました。次回11月26日（火）の参観会は、2時間公開（2・3時間目）といたします。懇談会は行いません。3学期の参観会については、懇談会の開催も含め、今後検討していきます。

○ 朝の旗振り当番やPTA活動の負担が大きい。

PTA理事会や関係部会でも改善に向けた検討が進められています。いただいた御意見は、PTA本部役員さんにもお伝えしていきます。挨拶や登校マナーについても御意見をいただきました。学校で指導していきますが、御家庭での声掛けもお願いします。

○ タブレット学習の内容を変えてほしい。

（漢字や計算はプリントでもできるので、タイピングなどを入れてほしい。）

本校では、授業中や雨の日の休み時間等に、子供たちの中にはタイピング練習を行っている子もいますが、一斉に行っているわけではありません。今後は学年の実態に合わせて、タイピング練習の時間を設けます。

○ 学年だよりを紙面でもいただきたい

今年度から、学校だより以外（学年だより、保健だより、給食だより等）は、さくら連絡網での配信のみになりました。しかし、学年だよりには、保護者だけでなく子供たちにも見てもらいたいときがあります。そのような場合には、紙面での配付を行います。御理解ください。

○ 熱中症対策

9月に入っても暑い日が続きます。水分補給を適宜行うよう子供たちに声掛けをしていきます。本校では、昇降口にミストを設置したり、運動場にテントを立てたりして、外遊びのときに休める場所を提供しています。また、運動場と体育館に、暑さ指数を測定するWBGT測定器を置き、養護教諭だけでなく、体育の授業や部活動の前には担当教員が暑さ指数を確認するようにしています。そのため、数値によっては外遊びや体育科の学習が中止となります。陸上部と和太鼓部には、活動終了後に児童一人一人に塩分タブレットを配ります。御家庭でも、水筒にスポーツドリンクを入れたり、登下校時に日傘やネッククーラーを使ったりしてください。

○ 登下校中のヘルメットの着用について

「夏の暑い時期は、ヘルメットの代わりに帽子を着用させてほしい」という御意見をいただきました。本校の通学路は、交通量が多かったり歩道がない通学路があったりするなど、交通安全の面で考えれば、ヘルメットの着用を推奨したいです。しかしながら、昨今の高い気温を考えると熱中症の心配もぬぐえません。そこで、和田小では今後次のようにしていきます。

- ・暑い時期（5月～10月）は、ヘルメットの代わりに帽子を着用して登下校してよい。（御家庭で判断してください。）
- ・ヘルメットをかぶらず帽子をかぶって登下校する場合、ヘルメットまたは防災頭巾を学校に置く。
- ・自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用する。（自転車専用のヘルメットも可）

ヘルメットの着用の有無に限らず、学校では交通安全について、十分指導してまいります。御家庭でもお子さんが安全に登下校できるように話をしてください。

○ 交通マナーについて

禁止されている場所での駐車や規制時間にスクールゾーンに進入する車が多いと御指摘を受けました。また、暑さの影響かお迎えの車が多いそうです。年度当初や学校行事の折には、お知らせをしていますが、引き続きPTAと連携をとり啓発してまいります。

○ 登下校について

登下校の荷物が多さや歩行マナーについての御意見をいただきました。タブレットを持ち帰る際や図工や書写の授業の際には、子供たちの負担にならないよう工夫していきたいと思えます。歩行マナーについては、その都度指導してまいります。御家庭での声掛けもお願いします。

通学班による集団登校（3～5月）に対しての御意見（人数が多くて危険、個別登校している子もいる等）もいただきました。PTA本部役員さんに伝え、検討していきたいと思えます。

○ 大雨時の対応（引き渡し）

6月28日の大雨の時の対応についての御意見、御指摘を多数受けました。御心配並びに御迷惑を掛け、申し訳ございませんでした。「引き渡しの方法が訓練と異なる」という御意見を多くいただいたことから、2学期からはお子さんの教室まで保護者に来ていただき、担任から直接引き渡しを受けるようにします。すでに2学期早々から大雨による留め置きがあり、このような対応で進めさせていただきました。スムーズな引き渡しができています。御協力ありがとうございます。今後は、児童の安全を最優先に、地域への影響も踏まえ、対策を講じていきます。

尚、引き渡しの際は、原則防災カードに記載のある方の来校をお願いします。

自由回答には、80件ほどの御意見をいただきました。すぐに取り組めるもの、皆さんの御意見をうかがいながら検討していくもの、そしてできないこともありました。お褒めの言葉も多数いただき、ありがたく感じています。また、指導の進め方として反省すべき点もありました。2学期以降も和田小学校でよりよき教育活動を進められるように全職員で頑張っていく所存です。よろしくお願ひ致します。